

新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン

川崎市少年野球連盟 学童部
会長 鈴木 啓之

【はじめに】

新型コロナウイルス感染症について、現段階で得られている知見を基に、行政と上部団体から出されている感染拡大予防ガイドラインを参考に、川崎市少年野球連盟学童の感染予防対策方針として作成したものです。

■参考資料

- ・ JSBB 感染予防対策ガイドライン改訂版（6月4日改訂）
- ・ JSBB「健康チェックシート」
- ・ スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン改訂版（概要）
- ・ スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン改訂版（5月29日改訂）
- ・ スポーツイベント開催・実施時の感染防止策チェックリスト改訂版
- ・ 学校施設有効活用事業利用の手引き（7月14日版）

1. 大会（練習試合）参加時の感染予防対策

（1）大会（練習試合）への参加者の事前注意事項

- ・ 参加者は検温を実施し球場に来ること。
- ・ 大会参加者は自宅から球場まで移動時、必ずマスクを着用すること。
- ・ 選手、監督、コーチ、大会役員、スタッフ、審判員及び保護者の出席を確認、参加者の健康状態を確認し、健康チェックシートに記載し大会事務局か球場責任者に提出すること。
- ・ 以下の病状が確認された方および当日の体温が基準値を超えた方は参加を認めない。
 - 1) 咳・鼻水など風邪の病状がある方、倦怠感・息苦しさの病状が有る方。
 - 2) 臭覚・味覚異常のある方。
 - 3) 当日の体温が37.5℃以上の方および当日の体温が平熱より1℃以上高い方。
- ・ 14日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された方。
- ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされた方。
- ・ 大会参加者は各自水筒かペットボトルを持参し、頻りに水分補給して熱中症防止対策を十分に行うこと。
- ・ 選手は各自タオルを持参すること（タオルを濡らすときはバケツの水を共有で利用しないこと

(2) 試合開催時共通の注意事項

- ・ 試合開始前の攻守決定時は、監督、主将および捕手はマスクを着用する。その時の審判員もマスクを着用する。挨拶時の握手は行わない。
- ・ 試合時の大会事務局側ならびに審判員からの諸注意をチームに伝える場合は、各マスクを着用して行うこと。
- ・ グラウンド内に入場および退場する場合、人と人との距離を1m以上確保して入退場すること。(ベンチ内の入れ替えなどに十分配慮し、密集・密接にならないように時間配分すること。)
- ・ 選手はグラウンド入場後、マスクを外し外野での練習を行う。その際は、選手間の距離を1m以上確保すること。
- ・ 用具点検を行う審判員は、消毒を施してから行うこと。
- ・ 試合中は、熱中症リスクを考慮し、グラウンド内でプレーする選手、ランナーコーチおよび塁審のマスク着用は義務付けない。但し、球審はマスク着用が望ましい(天候により判断する)
- ・ ベンチ内では監督、コーチ、スコアラー、代表、マネージャー、給水係はマスク着用し、一定間隔を保つように努力すること。
- ・ 試合開始および終了時の選手挨拶は、ベンチ前に一列に整列し、球審の合図で挨拶する。(ホームベース前に整列することを行わない)
- ・ 試合および練習において、選手が密集・密接する円陣や声出しは行わないこと。
- ・ 選手は試合中、握手、ハイタッチ、グータッチ等を行わないこと。
- ・ 監督が選手に指導するときは、マスク着用し、密集・密接ならないように1m以上離れた位置で指導を行うこと。
- ・ グラウンド内における唾、痰を吐く行為は厳禁とする。
- ・ 試合中、共用し使用するヘルメット、バットなどは出来るだけ除菌液等を塗布し、清潔状態を維持すること。
- ・ 審判員は給水を各自用意し、近場に保管しイニング間で給水を取ること。(本部、ベンチからの給水は行わない)
- ・ 応援者については、観客席が「密」にならないように、一定の距離を確保しマスク着用して観戦すること。また、大声を出す応援は控えること。
- ・ 各チームは、手洗い用の石鹸、消毒液等を準備すること。
- ・ 飲食は、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること。

* 改定追加内容について、アンダーラインです。